



## 火災から守る！

10月1日(日)、第26回自衛消防隊消防操法大会がイルプラザ北側広場で行われました。第一部：初期消火・通報訓練、第二部：小型動力ポンプ操法、第三部：屋内消火栓操法の3部門に地域や企業などの自衛消防隊20チームが出場して、日頃の訓練の成果を発揮しました。

### 主な内容

あいさつ運動強調月間	2
人事行政の運営等の状況	4
みんなのページ	10
インフォメーション(おしらせ)	12
国保やまびこ運動教室	15
カメラリポート	19
消防広場	20



あいさつは、人とのふれあいや心の通じ合いの第一歩です。より良い人間関係を築くためには、時と場をわきまえた、真心のこもった礼儀正しいあいさつができることが大切です。

市内小中学校では、10月を「あいさつ運動強調月間」として重点的にあいさつ運動に取り組めます。また10月23日(月)～11月2日(木)は「ふれあいたいむ」秋の推進旬間です。この機会に、自分のあいさつのあり方などをふりかえり、学校や家庭、職場や地域社会で、みんなが気持ちよくあいさつを交わしましょう。

## あいさつ標語

- あいさつは 笑顔をつくる まほうだよ (横内里穂さん 川岸小5年)
- 「ありがとう」その一言で うれしいな (平林美帆さん 田中小4年)
- おはようは キラキラはずむ 朝の声 (三澤佳月さん 川岸小6年)
- ありがとう 心のとびらが ひらくとき (北澤桂さん 田中小5年)
- あいさつで みんなの心 ほっかほか (黒岩涼さん 神明小4年)
- おはようと 一声かければ いい気持ち (山岡裕真さん 湊小5年)
- あいさつは みんなのもってる たからもの (横内あり沙さん 神明小5年)
- 一言おはよう みんなの笑顔が 倍になる (山岡沙也佳さん 湊小6年)
- あいさつは 人と人を 結ぶにじ (上條佳奈さん 岡谷小4年)
- あいさつは 心のふれ愛 結び合い (望月理紗さん 長地小4年)
- あいさつは 笑顔が増える 魔法だね (西郷あゆみさん 岡谷小6年)
- あいさつは 心かよわす 愛言葉 (泉万梨華さん 長地小5年)
- あいさつで 人の心に 花が咲く (内田悠莉乃さん 小井川小5年)
- あいさつで 生まれるきずな 大切に (小椋大さん 上の原小5年)
- あいさつは ふれあう気持ち うれしいな (今井大貴さん 小井川小6年)
- あいさつで 友だちひとり またひとり (内山愛子さん 上の原小6年)
- おはようで 心の電源 スイッチオン (太田智幸さん 岡谷西部中2年)
- 挨拶で 地域の笑顔が あふれてく (中島愛理さん 岡谷南部中1年)
- こんばんは 寒い夜に あたたかい (宮澤友真さん 岡谷西部中3年)
- みんなで挨拶 かがやく笑顔 (大槻祐里さん 岡谷南部中3年)
- おはようは 毎朝明るく 気持ちよく (降旗はるかさん 岡谷北部中1年)
- あいさつは 暗い心を 開くカギ (宮坂達也さん 岡谷東部中2年)
- 相手との コミュニケーション あいさつで (橋本卓也さん 岡谷北部中3年)
- あいさつは 世界をつなぐ 愛(合)言葉 (今井あゆ美さん 岡谷東部中3年)

みんなが気持ちよく  
あいさつをしよう！

## あいさつ作文

ぼく達が住んでいる湊は、今年の7月19日に土砂被害で地いきの人達が困りました。なのでぼくは、登下校の時や、家庭で挨拶をしています。「おはようございます」と大きな声で挨拶すると気持ちがいいです。

挨拶を、地いきの人、家族に言うときにこした顔になってくれます。地域の人も、挨拶を返してくれます。ぼくも、地いきの人達から元気をもらいます。挨拶をいっばい言えばいっばいほど気持ちが良くなつていきます。地いきの人、家族が、暗くなつても挨拶するだけで元気を取り戻してくれます。なので挨拶をいつもして、挨拶を好きにしたいです。

もしも挨拶がなくなったら、地いきの人、家族のみんなの、元気が出て来ません。だから挨拶がなくなると困ります。ぼくは、挨拶をする時に元気があまりなくてもがんばって挨拶をしたいと思います。ぼくの挨拶に足りないものがある



吉田 崇哲 (湊小4年)

「笑顔の挨拶で 地いきを明るく」

うひとつあります。それはえ顔です。なんでもかというとき、ぼくが挨拶するときに声はきちんと出ているけど、え顔がないからです。ぼくは、毎日え顔で挨拶を出来なかつたけど、だんだん出来てきます。なので、え顔の挨拶をいっぱいして地域の人、家族を明るく

### あいさつの大切さ！



井上 拓馬  
(神明小6年)

「こんにちは」「おはよう」「ありがとう」一言で言える言葉なのに、ぼくにとっては苦手な言葉でした。はずかしいという思いができてしまい、近所の人へのあいさつや友達へのあいさつがなかなかできなかつた。

しかし6年生になり、図書副委員長の仕事を任せられ、自分の気持ちの中で不安でした。特に、あいさつなんてできないって思っていた。何日かたつての朝に委員長、副委員長が校内の色々な場所に立ち、あいさつをする事になった。ぼくはふるえあがる気持ちをおさえながら、あいさつする場所へ立った。「おはよう」と言ったが相

手に聞こえなかつたのか、相手からの返事はなかつた。少しさみしかった。後で先生にあいさつの事で話を聞き、あいさつの大切さを知った。勇気を出して大きな声であいさつをしてみようと思い、やってみた。「おはよう」相手はびっくりしたような顔をしたけれど、すぐに笑いながら返事を返してくれた。ぼくはとつてもうれしかった。その時、先生の言っていた大きな声で気持ちこめてあいさつをするということがとつても大切なんだと言っていたことを思い出しました。そして、ぼくも毎日あいさつをくり返し、はずかしさも少しずつなくなり、だれにでもあいさつができるようになった。

いつだったか、テレビで近ごろはあいさつのできない若者が増えてきていると言っていた。仕事に行っても上の人にあいさつができないらしい。何故かと言うと携帯電話で友達同士メールで話してすませているからだ。

ぼくはそんな大人にはなりたくないと思つた。あいさつが大切だという事がわかつたからだ。ぼくは近所の人達にも大きな声であいさつができるようになった。近所の人もうれしそうにあいさつを返してくれる。あいさつはとつても気持ちがいい事だと思う。今、ぼくは6年生で、下級生の手本にならなくてはならない。下級生に

はあいさつの大切さや、よろこびをしつかり分かつてもらい卒業できたらいいなと考えています。ぼくは臆病ではずかしがりやで人にあいさつもできなかつたけれど副委員長になり、いろんな大切な事を学んでこれた良かったと思います。前期のぼくの副委員長の仕事は終わつたけれど、たくさんの人達が協力してくれて、「ありがとう」という気持ちです。これからもあいさつの大切さを忘れずに大人になりたいと思つています。

### 「日常のあいさつ」



高林 菜々美  
(岡谷東部中2年)

私は、あいさつというものは、人と人との絆を深めるために必要なものだと思います。

普段、学校では友達との会話の中であいさつは当たり前で、毎日のように「おはよう」という言葉を交わしています。私は、その言葉を聞くとなぜかとても安心します。あいさつを交わすと友人との心の距離が少し近づいたような気がして、自然と心が軽くなります。日常生活では、近所の人と、あ

いさつを交わしています。良く知つている人、知らない人がいます。が、あいさつを交わすことにより、親近感がわき、ちょっとしたコミュニケーションをとることが出来ます。最近では、「近所付き合いが悪い」という言葉を耳にするようになりました。私は、あいさつをすることだけでも、近所付き合いは、少しずつ良くなっていくものだと思います。

小学校の頃は、あいさつはしてはいたけれど、あいさつの意味を考えず、ただ「こんにちは」などと言つていただけでした。中学校に入つてからは、多少あいさつをすることが減つてしまつたけれど、あいさつの奥深さというものが少しずつ分かり、意味を考えながらあいさつをするということが増えました。そのため、最近はいさつのもつ大切さ、良さなどが分かり、「これからはあいさつをきちんとしよう」という気持ちになりました。これらのことから私は、あいさつは、たった一言の簡単な言葉なのに、人の心を安心させることのできる不思議な言葉だと思つています。

私はあいさつとは人と人の心と心の距離を近づけ、人と人との絆を深めるという大事な役割のあるとても簡単で、奥の深い、いいコミュニケーションだと思います。